

変更の事由及び時期を記載した書類

事 項		記 入 欄						
フリガナ 設置者		カッコウホクジシ ナゴヤデンキガクエン 学校法人 名古屋電気学園						
フリガナ 大学の名称		アイコウギョウダ イバク 愛知工業大学 (Aichi Institute of Technology)						
大学本部の位置		愛知県豊田市八草町八千草 1247						
名称変更の内容		(現在の名称) (変更後の名称) 工学部 工学部 <u>土木工学科</u> → <u>社会基盤学科</u> 英訳名 (Department of 英訳名 (Department of Civil Engineering) Civil Engineering)						
名称変更の時期		令和 6 年 4 月 1 日						
新名称の対象年次		新 1 年次						
名称変更の理由		本学は、昭和 40 年に土木工学科を設置し、続いて昭和 43 年に建築学科を設置、昭和 51 年には建築工学科を設置した。平成 16 年に、教育研究施設の共有、教員の連携、学際的な教育の実施のため、土木工学科と建築学科、建築工学科を統合し、都市環境学科を設置し教育を行った。進展する建設技術に応えた技術者の養成のため、平成 21 年に建設分野全般を教育していた都市環境学科から、建築学科を分離し設置した。都市環境学科は街づくりを中心とした、土木工学による教育・研究がなされ、教育内容と学科名を合致させることから、平成 27 年に土木工学科に名称変更を行い、土木工学の専門的知識を基にし、防災意識の向上に伴う地域の整備、安全な都市の整備を担う人材を養成してきた。 土木工学分野では、社会基盤の基となる構造物の構築、自然環境との共生に加えて、自然災害に対処する国土強靱化、持続可能な都市計画やエネルギー開発などの ICT や建設 DX など領域が広がっている。土木工学科ではこれらに対応した教育を行い、数理情報・分析・解析などを活用し、社会基盤の計画・構築・維持を担うことの出来る人材を養成してきた。このことから、土木工学科の名称をこれらの領域に応えた教育内容に沿って、社会基盤学科に変更する。 なお、入学時の学科名称で卒業したい学生に配慮し、新 1 年次より新学科名称とし、在学生に対しては、卒業するまで入学時の学科名称で対応する。						
届出学部等の概要	届出学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は称号	開設時期及 び開設年次	所在地
	工学部 社会基盤学科 [Department of Civil Engineering]	4	115	—	460	学士 (工学) [Bachelor of Engineering]	令和 6 年 4 月 第 1 年次	愛知県豊田市八草町 八千草 1247